

# 末吉小学校改築基本構想



やさしく  
かしこく  
たくましく

令和5年10月

曾於市 教育委員会



# 目次

序章	- 1 -
1. はじめに	- 1 -
2. 基本構想の位置づけ	- 1 -
3. 上位計画	- 2 -
第1章 未吉小学校の概要	- 6 -
1. 未吉小学校の概要	- 6 -
2. 既存施設の問題・課題	- 11 -
3. 未吉小学校校舎改築の必要性	- 14 -
第2章 未吉小学校建替の基本理念・基本方針	- 15 -
1. 未吉小学校建替の基本理念	- 15 -
2. 未吉小学校建替の基本方針	- 15 -
第3章 未吉小学校に求められる機能	- 16 -
1. ワークショップ等による意見	- 16 -
2. 未吉小学校に求められる機能	- 20 -
第4章 未吉小学校の規模	- 21 -
1. 新校舎の床面積	- 21 -
2. 駐車台数	- 23 -
第5章 未吉小学校の所要室等	- 24 -
1. 所要室等の考え方	- 24 -
2. 所要室等	- 24 -
第6章 事業スケジュール	- 27 -



# 序章

## 1. はじめに

昭和 51 年から昭和 52 年にかけてその大部分が建築された末吉小学校校舎は、築後 50 年近くが経過する中、劣化の進行や狭隘化、設備の陳腐化など様々な問題が生じています。このような中、文部科学省が定める「公立学校建物の耐力度調査実施要領」に基づき、令和 5 年度に実施した耐力度調査では、所要の評点に達しておらず、構造上危険と判断されています。

また、耐力度不足に加え、天井の爆裂や壁のクラックのほか、各所の天井では雨漏れに起因するシミが多数発生しており、老朽化による損傷等が深刻な状態です。

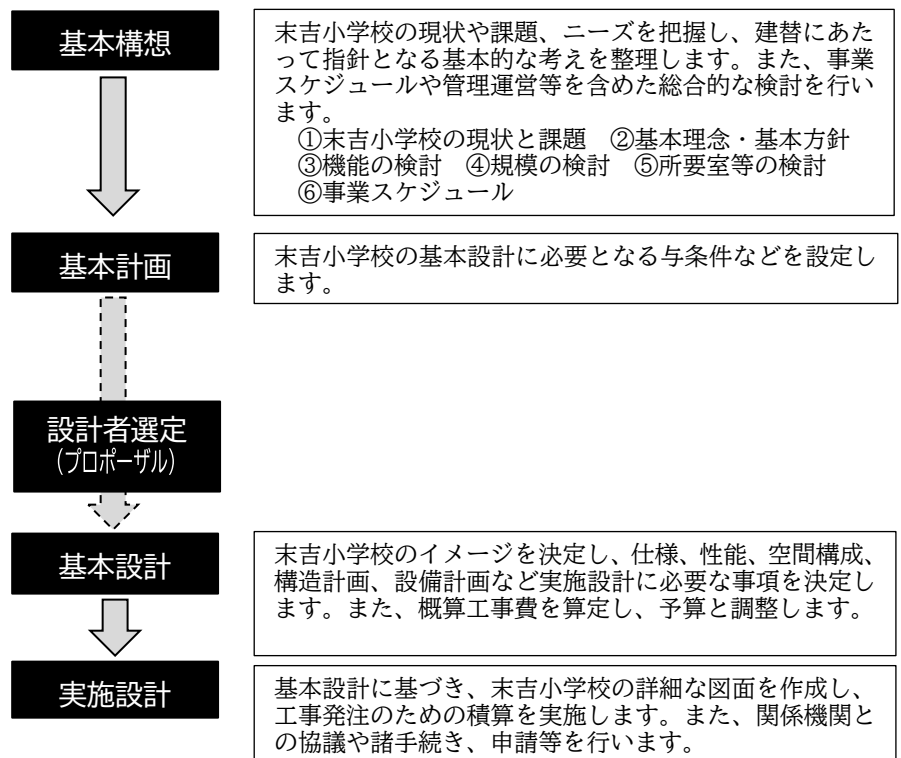
このような中、末吉小学校の建替を念頭に、末吉小学校区にふさわしい小学校について検討を行うため、教職員と地域の代表の方々による「末吉小学校改築基本構想ワークショップ」を開催し、検討を行いました。

この基本構想は、「末吉小学校改築基本構想ワークショップ」での協議結果を踏まえたうえで、新校舎の実現に向けた具体的な整備手法等について取りまとめたもので、末吉小学校に求める機能や規模などの検討を行い、新しい末吉小学校の基本的な考え方を示すことを目的に策定しました。

## 2. 基本構想の位置づけ

基本構想は、末吉小学校の建替後の位置や機能、規模などに関する基本的な考え方を示し、末吉小学校改築基本計画の策定にあたって、検討の論点を整理したものです。

今後、この基本構想をもとに、様々な立場の方から意見を聞き、また議論を重ね、具体的な規模、機能、概算事業費など末吉小学校の建替に向けた諸条件を整理し、基本計画を作成していきます。



### 3. 上位計画

#### ① 第2次曾於市総合振興計画（後期）（令和3年2月） 【計画期間：令和3～7年度】（抜粋）

##### <基本構想>

##### 【市の将来像】

「豊かな自然の中でみんなが創る笑顔輝く元気なまち」

##### 【まちづくりの基本方向】

1. 市民主役の協働のまちづくり
2. 市民のこころ安らぐまちづくり
3. 地域資源を活かし、活力とにぎわいのまちづくり
4. 市民生活の土台を守るまちづくり
5. 個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

##### 【基本構想における関連事項】

##### 「5\_個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり」

10年後、20年後の本市のまちづくりを担う若い世代に対して、学校・家庭・地域が連携することで、本市全体が若い世代を見守る体制を作ります。そして、若い世代だけではなく、あらゆる世代の市民が常に学び・自己を高め続ける場としての生涯学習やスポーツ活動を展開します。

##### <基本計画>

##### 「1-3 安心で快適な公共施設」

##### 【10年後の曾於市の姿】

計画的かつ適切な本市財産の管理により、市民が安全かつ快適に公共施設を利用できています。

##### 「9-1 充実した教育環境の整備」

##### 【10年後の曾於市の姿】

子どもたちが安心・安全な環境で夢実現のために学べると共に、時代の要望に合致した学校施設になっています。

##### <重点施策>

##### 「06 「教育・環境施設『そお』生」プロジェクト」

本計画期間中に見込まれる、大きな公共施設の改修として、教育分野では小学校の改修、環境分野ではクリーンセンターの改修が見込まれています。どちらも、今後の本市の生活を支える重要な施設であり、環境に配慮し、安全性も確保される公共施設となるよう、各課・関係機関が連携を取り合いながら、改修を実施します。

#### ② 曾於市過疎地域持続的発展計画 【計画期間：令和3～7年度】（抜粋）

##### 【地域の持続的発展の基本方針】

- ア. 市民主役の協働のまちづくり
- イ. 市民のこころ安らぐまちづくり
- ウ. 地域資源を活かし、活力とにぎわいのまちづくり
- エ. 市民生活の土台を守るまちづくり
- オ. 個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

## 【9 教育の振興】

## (1) 現状と問題点

## ア 学校教育

令和3年5月現在の児童生徒数は、小学校が20校122学級で児童数1,605人、中学校が3校31学級で生徒数787人であり、この10年間で3割ほど減少していますが、今後も減少が続く見込みであります。

このような状況にあって、「適正規模での学び」の実現や、児童生徒にとって等しく良好な教育環境を確保し、教育効果を高めていくために、今後議論を進める必要があります。

特別支援学級は、小中学校併せて28学級あり、障害を持つ児童生徒の就学について、可能な限り社会的自立や参加を実現させる観点で、指導内容や指導体制の充実を図っていく必要があります。

学校教育施設は、第2次耐震診断により耐震性が不足するとされた施設に対し実施する耐震補強、耐震改築が平成27年度で終了し、屋内運動場に関しては、令和2年度に完了しました。

小中学校施設において築年数が40年を超えるものが、全100棟中35棟の35%、うち屋内運動場・武道館（増築分を含む）が27棟中8棟の29.6%となっており、これらの安全面や機能面を確保していくためにも老朽化対策が喫緊の課題といえます。

## (2) その対策

## ア 学校教育

学校施設において、老朽化が進む校舎等の改築を計画的に進めます。

## ③ 曾於市公共施設等総合管理計画（改訂版）（令和4年3月改訂）

【計画期間：平成29～令和8年度】（抜粋）

## 【基本方針】

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| ① 保有総量の縮小による将来更新負担額の軽減   | ⇒ 減らす 増やさない |
| ② 長寿命化の推進によるライフサイクルコスト低減 | ⇒ 長く使う      |
| ③ 施設管理の効率化によるコスト削減       | ⇒ 無駄を省く     |

## 【基本方針に対する目標値】

- |             |                      |
|-------------|----------------------|
| ① 減らす 増やさない | ⇒ 施設の保有面積を10年間で16%削減 |
| ② 長く使う      | ⇒ 長寿命化予防保全型対応へ切替えていく |
| ③ 無駄を省く     | ⇒ 維持管理コスト10年間で10%削減  |

## 【施設類型ごとの基本方針】

## 5 学校教育系施設

- ・ 小学校は、地区民にとって核となっている施設であるが、今後の児童数の推移を考慮し、児童の保護者や地域住民の理解を得ながら学校規模の適正化の議論を進めていく。
- ・ 児童・生徒の安全性の確保と健全育成のための教育環境の充実を図るために、必要な修繕を実施しながら適正な維持管理に努めていく。
- ・ 2つの学校給食センター及び2つの学校調理場については、令和6年度の供用開始に

向けて4か所を1か所に統合し建設を進めていることから、令和6年度に廃止とする。

個別計画等の策定状況・工事予定

- ・ 岩川小学校移転改築（令和元年度～3年度改築、令和4年度旧校舎等の解体）
- ・ 末吉小学校改築（令和5～6年度基本実施設計、令和7～8年度校舎等の改築、令和9年度旧校舎等の解体）
- ・ その他の小中学校は、必要に応じて長寿命化改修または部分改修

④ 曾於市学校施設等長寿命化計画（令和2年3月）[計画期間：令和2～11年度]（抜粋）

<学校施設のあり方>

安全性	快適性	学習活動への適応性	環境への適応性	地域の拠点化
-----	-----	-----------	---------	--------

<末吉小学校の劣化状況評価>

施設名		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
管理教室棟	1	C	A	C	C	C	57
普通教室棟	2	C	A	C	C	C	57
教室棟	16	B	A	B	B	B	82
図書室	17	A	A	B	B	—	86
屋内運動場	4-1	C	B	C	C	—	51
屋内運動場	4-2	C	B	B	B	B	72
給食室	18	A	B	B	B	B	77

<改修等の整備水準>

● 安全性・耐用性を確保・維持するための改修	構造体の長寿命化や内・外装仕上等の改修、設備更新や必要な防災・防犯機能の付加等
● 機能性・快適性を確保・維持するための改修	機能性や快適性等、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、必要な社会ニーズに応じた機能付加等
● 環境面を確保・維持するための改修	断熱や遮音等による環境面の向上や省エネ化によるコスト削減等

<長寿命化の実施計画>（末吉小学校）

施設名	事業内容	実施時期
管理教室棟	改築	令和6～7年度
普通教室棟	改築	令和6～7年度
教室棟	改築	令和6～7年度
図書室	改築	令和6～7年度
屋内運動場	長寿命化型改善・部分修繕	令和2～3年度
給食室	解体撤去	令和5年度



## ⑤ 教育振興基本計画（前期計画）（令和2年3月改訂）（抜粋）

## &lt;基本目標と基本理念&gt;

## 【基本理念】

「個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり」

## 【基本目標（目指す姿）】

- 「調和のとれた生きる力を備え、将来自立して、他者とともに生きることのできる曾於の児童生徒」
- 「地域や人とともにあり、生涯にわたって様々な活動や学習に取り組み、生きがいを創り出す曾於市民」

## 【今後 10 年間に取り組む施策】

「2本市教育施策の方向性－（3）学びを支える安全・安心で魅力ある教育環境の実現」

このため、充実した教育活動を存分に展開できる、機能的な施設・設備環境を整え、快適で十分な安全性、防災性や衛生的な環境を整えた安全・安心な学校施設として整備を図っていきます。

## 【具体的施策の展開】

「3学びを支える安全・安心で魅力ある教育環境の整備－（5）安全・安心な学校施設の整備」

学校施設の老朽化対策を進めるに当たっては、劣化した施設について単に建築時の状態に近づけるだけでなく、時代のニーズに対応した学校施設へと転換を図る必要があります。その際には、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、地域コミュニティ・防災の拠点形成を目指して再生を行うことが重要となります。

- ① 岩川小学校及び末吉小学校の校舎については、築年数や劣化状況等を総合的に判断の上、危険建物改築事業による整備に取り組みます。
- ② 上記以外の小学校や屋内運動場については、国の防災機能強化事業（建築非構造部材の耐震化工事）や長寿命化改良事業、大規模改造事業による再生整備に取り組みます。
- ③ 各学校において、学校安全計画に基づく安全点検（法定点検）を機能化・画一化するとともに、リスクマネジメント体制の構築を図ります。

# 第1章 未吉小学校の概要

## 1. 未吉小学校の概要

未吉小学校区は、曾於市（以下、「本市」という。）の中央に東西に長く位置し、その一部は宮崎県と接しています。校区内には市役所本庁、市立図書館、警察（末吉幹部派出所）等の官公署があり、また、JAや銀行等の金融機関、商店、病院等も立地しています。南北に国道269号が走り、宮崎県の中核都市である都城市まで約15分、志布志港まで約30分、鹿児島空港・宮崎空港まで約1時間の圏域にあります。

### ア 校訓

- やさしく
- かしこく
- たくましく

### イ 学校の沿革

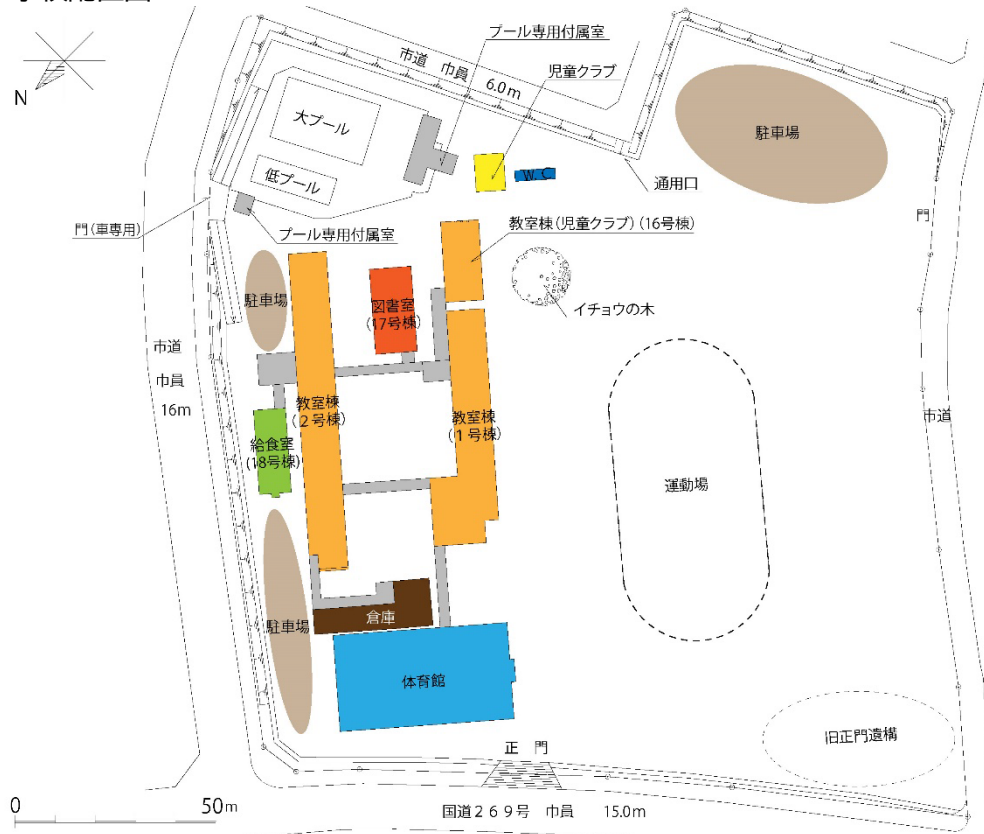
年度	西暦	行事
明治5	1872	開校
昭和47	1972	創立100周年
昭和50	1975	教室棟（2号棟）設置
昭和51	1976	教室棟（1号棟）設置
昭和54	1979	体育館建築
昭和60	1985	教室棟（16号棟）、図書館棟（17号棟）設置
昭和61	1986	給食室（18号棟）設置
昭和63	1988	体育館増築
平成13	2001	プール及び付属室設置
平成15	2003	教室棟（16号棟）の一部を児童クラブへ財産処分（117㎡）
令和4	2022	教室棟（16号棟）の一部を児童クラブへ財産処分（58.4㎡）
令和4	2022	学校創立150周年
令和6	2024	給食センター方式へ移行（予定）

## ウ 既存の施設

教室棟（1号棟・2号棟・16号棟）のほか、主に体育館・図書館（17号棟）・給食室（18号棟）・プール・倉庫などで構成されており、プール以外は築後30年以上が経過しています。

校庭には、シンボルツリーのイチョウの木などの植栽のほか、各種遊具・東屋・記念碑などがあり、旧正門の遺構も残されています。

### ■ 末吉小学校配置図



末吉小学校全景（西側より見る）

<p>● 教室棟（1号棟）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 51 年度</li> <li>・ 構 造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階 数：2 階</li> <li>・ 延べ面積：1,329 ㎡</li> </ul>	
<p>● 教室棟（2号棟）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 50 年度</li> <li>・ 構 造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階 数：3 階</li> <li>・ 延べ面積：2,517 ㎡</li> </ul>	
<p>● 体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 54・63 年度</li> <li>・ 構 造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階 数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：1,049 ㎡</li> <li>※ 昭和 63 年増築</li> </ul>	
<p>● 倉庫（13号棟）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 58 年度</li> <li>・ 構 造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階 数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：106 ㎡</li> </ul>	
<p>● 倉庫（14号棟）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 58 年度</li> <li>・ 構 造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階 数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：44 ㎡</li> </ul>	



<p>● 倉庫・トイレ (15号棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 58 年度</li> <li>・ 構造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：24 m<sup>2</sup></li> </ul>	
<p>● 教室棟 (16号棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 60 年度</li> <li>・ 構造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階数：2 階</li> <li>・ 延べ面積：380 m<sup>2</sup></li> </ul>	
<p>● 図書館 (17号棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 60 年度</li> <li>・ 構造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：208 m<sup>2</sup></li> </ul>	
<p>● 給食室 (18号棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 61 年度</li> <li>・ 構造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：356 m<sup>2</sup></li> </ul>	
<p>● プール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：平成 13 年度</li> <li>・ 付属室面積：114 m<sup>2</sup></li> <li>・ 機械室面積：20 m<sup>2</sup></li> </ul>	

<p>● 児童クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：平成 26 年度</li> <li>・ 構 造：軽量鉄骨造</li> <li>・ 階 数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：87.56 m<sup>2</sup></li> </ul>	
<p>● 久遠の灯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設年度：昭和 55 年度</li> <li>・ 構 造：鉄筋コンクリート造</li> <li>・ 階 数：1 階</li> <li>・ 延べ面積：約 10 m<sup>2</sup></li> </ul>	
<p>● 遊具・シンボルツリー (イチョウの木)</p>	
<p>● 旧正門遺構・モニュメント</p>	
<p>● 正門</p>	



## 2. 既存施設の問題・課題

### ア 耐力度調査の結果

令和5年度に文部科学省が定める「公立学校建物の耐力度調査実施要領」に基づき実施した結果、耐力度の評定が「3,888点」となり、鉄筋コンクリート造の判断基準である4,500点を下回ったことから構造上危険な状態にある建物（危険建物）と判断されました。

このため、公立学校施設を建て替えるための国庫補助事業（危険改築事業）の対象となっています。

※ 耐力度調査： 公立学校施設において、建物の構造耐力、経年による耐力・機能の低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を評価するもの。

調査の結果、耐力度点数（10,000点満点）が次の点数以下になった建物は、構造上危険と判定され、公立学校施設を建て替えるための国庫補助事業（危険改築事業）の対象となる。

・ 木造	：	5,500点
・ 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、 補強コンクリートブロック造等	：	4,500点

### イ 老朽化の進行

教室棟（1号棟及び2号棟）は平成27年度に外壁改修が行われているものの、内部の老朽化が著しく、天井には雨漏れや吹き込みに起因すると思われるシミが発生しているほか、廊下天井の爆裂によるコンクリートの剥落や床の木タイル不良による不陸が発生しています。

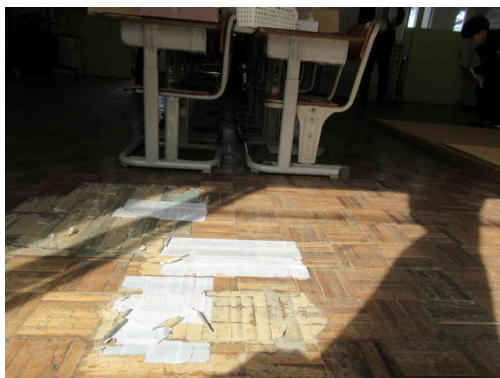
このため、曾於市学校施設等長寿命化計画策定に伴い、平成30年度に実施された建物調査における健全度は、両棟とも100点満点中57点となっており、特に屋上防水や内部仕上げ、電気設備、機械設備において、修繕・改修が必要な「C評価」となっています。



廊下天井の雨漏れ（教室棟1号棟1階）



屋根防水の剥がれ（教室棟1号棟屋上）



木タイル剥げ・不陸  
（教室棟2号棟1階教育マルチルーム）

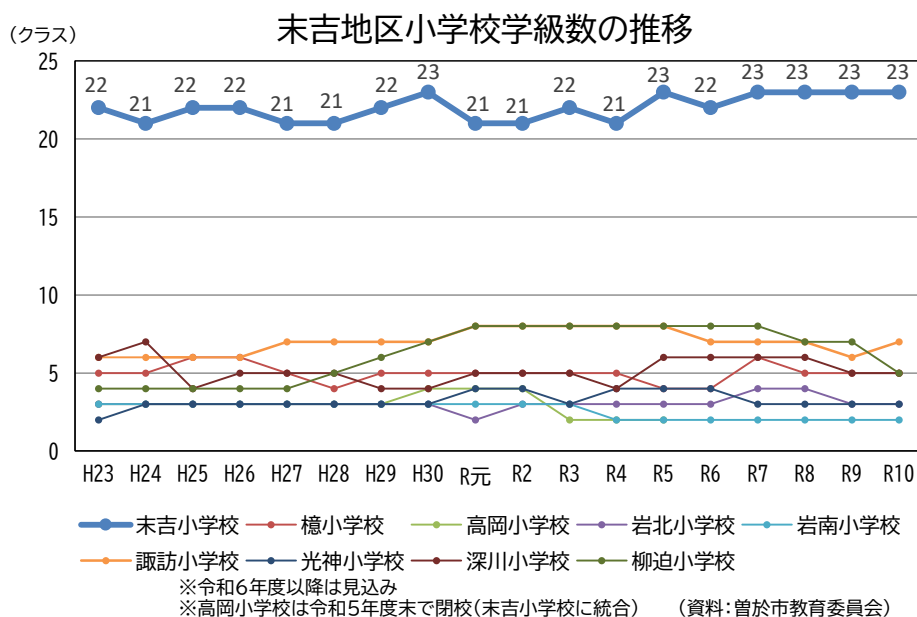
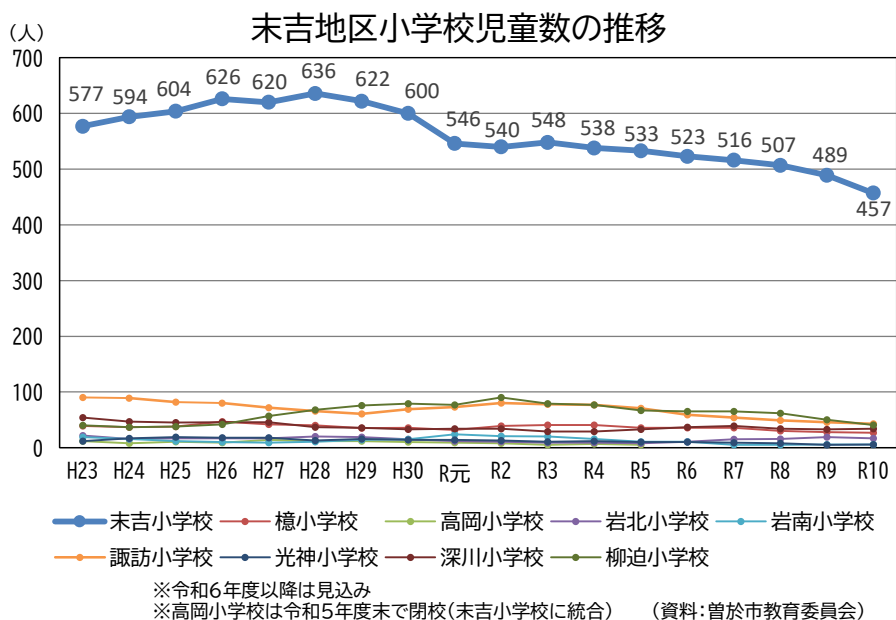


梁施工不良（教室棟2号棟2階廊下）

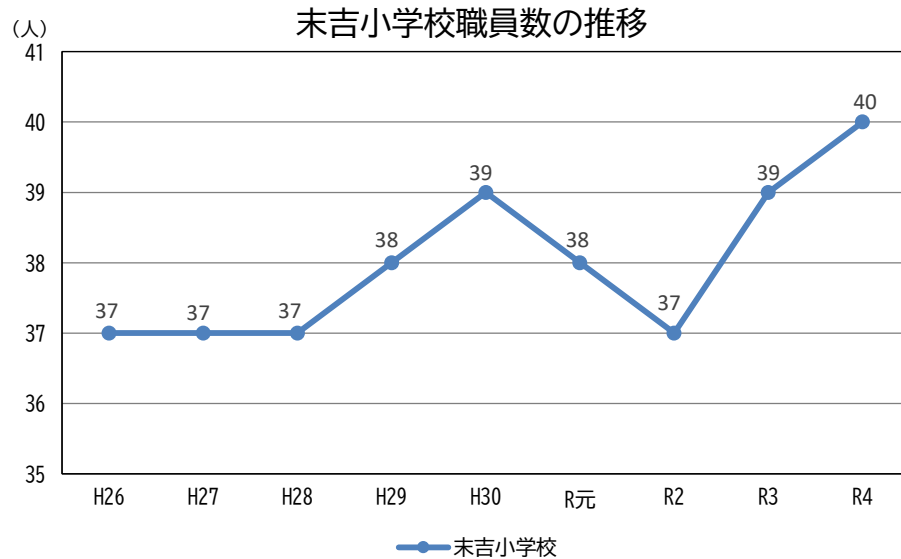
## ウ 必要床面積の不足

本市の中心部に立地する末吉小学校は、市内の小学校で最も児童が多く、末吉地域内の他の小学校と比べても突出して児童数が多くなっています。しかしながら、児童数の推移を見ると、少子化の進行を背景に減少傾向で、令和9年度には500人を割り込むことが想定されています。

現在、普通教室が23室、特別教室等が8室確保されていますが、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」（以下、「義務教育標準法」という。）の改正施行に伴う令和7年度までの全学年での「35人学級」実現や鹿児島県教育委員会の「「かごしまっ子」すくすくプラン」による1・2年生の30人学級実施などを背景に必要な普通教室数に大きな変化は生じない見込みです。一方、少人数学級の実施や特別支援学級が増加傾向にあること、ALT（外国語指導助手）の常駐化などを背景に職員数は増加しており、職員室等を十分に確保することができないため、一部の職員室等は教室の転用により確保している状況です。加えて、今後は一層の学習支援の場の確保が必要となることや女性活躍等に伴う児童クラブ通所児童の増加、生活様式やプライバシー意識の変化に伴う更衣室の確保などの必要があるため、全体の必要床面積は不足している状況にあります。







## エ バリアフリー化への対応

令和2年の「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（以下、「バリアフリー法」という。）改正により、公立小学校である末吉小学校は、同法第2条第1項第19号の規定による特別特定建築物となっており、建築物移動等円滑化基準※適合の努力義務があるほか、床面積2,000㎡以上の建築物として改築等を行う場合は同基準への適合義務があります。

また、文部科学省では、学校施設のバリアフリー化について、「学校施設におけるバリアフリー化の一層の推進について(通知)」（令和2年12月25日付け2文科施第347号）により、令和7年度末までに「バリアフリースイッチについて、避難所に指定されている全ての学校に整備する」、「スロープ等による段差の解消について、全ての学校に整備する」、「エレベーターについて、要配慮児童生徒等が在籍する全ての学校に整備する」という整備目標を掲げられています。

末吉小学校は避難所に指定されていますが、バリアフリースイッチが整備されておらず、また、段差も十分に解消されていないなどの状況にあります。このため、法律や国が示す整備目標を満足しうるバリアフリー化を早急に検討する必要があります。

※ 移動等円滑化基準： 高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な建築物特定施設の構造及び配置に関する政令で定める基準。



和式トイレ（教室棟1号棟1階）



入り口段差（教室棟1号棟1階）

---

### 3. 末吉小学校校舎改築の必要性

現在の末吉小学校校舎は、耐力度不足及び経年劣化、必要床面積不足さらにはバリアフリー化対応などの問題・課題を抱えています。また、令和6年9月以降の給食センター方式への対応も必要となっています。躯体や設備の経年劣化は、改修で解消される可能性はありますが、耐力度不足解消や完全なバリアフリー化の実現はハードルが高く課題も残るほか、必要床面積不足は増築を行わない限り解消することはできません。

市街地中心部に位置する末吉小学校は、位置・規模ともに末吉地域における核となる小学校であり、将来にわたって適切な状態で管理・供用されていくことが求められています。

また、曾於市公共施設等総合管理計画や教育振興基本計画（後期計画）、曾於市学校施設等長寿命化計画において、「築年数や劣化状況等を総合的に判断の上、危険建物改築事業に取り組む」方針が示されているほか、耐力度調査で「危険建物」と判別されたことから、改築にあたっては国庫補助の活用が可能となります。

このようなことから、末吉小学校が抱える問題・課題に抜本的に対応し、地域の核として将来にわたって活用していくため、校舎を改築することとします。

なお、既存施設のうち、健全度が高い体育館や、築年数が浅いプールは改築後も現在の施設を引き続き活用することを基本とします。

## 第2章 末吉小学校建替の基本理念・基本方針

### 1. 末吉小学校建替の基本理念

新しい末吉小学校は、少子高齢化の進行などの社会情勢の変化や現施設の問題・課題、地域住民ニーズへの対応を考慮するとともに、第2次曾於市総合振興計画のまちづくりの基本的方向や教育振興基本計画の基本理念として掲げられている「個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり」に寄与するものでなければなりません。

これらを踏まえ、末吉小学校建替の基本理念を以下のとおりとします。

**充実した教育環境の中 夢実現のために安心して学べる 学校づくり**

### 2. 末吉小学校建替の基本方針

基本理念の実現に向け、末吉小学校建替の基本方針を以下のように設定します。

#### (1) 安全・安心な小学校

小学校は、児童が一日の大半を過ごす学習、生活の場であることから、地震・台風等の災害発生時においては、児童の人命を守るとともに、被災後の教育活動等の早期再開を可能とするため、施設や設備の損傷を最小限にとどめられるように配慮します。

また、教職員の目が届きやすい配置計画のほか、バリアフリー法が規定する建築物移動等円滑化基準や文部科学省が設定した学校施設のバリアフリー化の整備目標を満足するなど、児童が安心して学ぶことができるインクルーシブ<sup>※</sup>な教育環境の整備を図ります。

※ インクルーシブ： 個々が持つ多様な要素や属性の違いを互いに認め、共生していくこと。

#### (2) 機能性・効率性を重視した小学校

カリキュラムの変更や児童数の変化に柔軟に対応できる普通教室や特別教室の配置のほか洋式トイレの整備など教育システムや生活様式の変化に対応するとともに、だれもが利用しやすく分かりやすい動線の確保に配慮します。

また、将来的な維持管理も考慮し、シンプルかつ機能的な空間構成とするとともに、児童の環境に対する意識醸成や化石エネルギーに頼らない持続可能な学校運営を図るため、日射や通風などの自然エネルギーを活用したパッシブデザイン<sup>※</sup>にも配慮します。

※ パッシブデザイン： 機械設備を使わず、太陽光や風などの自然エネルギーを受動的に利用して、快適な空間を創出しようとする設計思想・手法のこと。

#### (3) 地域住民も利用しやすく親しまれる小学校

末吉小学校の歴史や魅力を後世へつなぎ、引き続き、地域住民に親しまれる小学校を目指します。

また、学校行事への地域住民の参加や、放課後や休日の学校開放、災害発生時の避難所開設を念頭に、全世代が使いやすいユニバーサルデザインによる施設整備を図ります。

## 第3章 末吉小学校に求められる機能

### 1. ワークショップ等による意見

#### ア ワークショップによる意見

学識経験者、教職員、PTA関係者、公民館関係者等で構成されるワークショップにおいて、A～Cの3班に分かれ、「末吉小学校の将来像」、「活かしたいところ」、「改善してほしいところ」について協議していただいたところ、以下の意見が挙げられました。

#### ■ ワークショップによる意見（A班）

項目	意見
末吉小学校の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虫害を受けない樹木の選定と緑陰を利用した屋外授業ができる</li> <li>・ 開かれた（地域）図書館</li> <li>・ 図書館は1階</li> <li>・ 多目的室の設置</li> <li>・ 本の場所と読む場所を別々に設置</li> <li>・ 地域密着</li> <li>・ 毎月地域のバザーを行う</li> <li>・ 多目的に利用できるように各室のスペースは広めに</li> <li>・ 壁を動かして教室の広さを自由に換えられる</li> <li>・ 壁の位置を変更できる</li> <li>・ クーラーのきいたトイレ</li> <li>・ バーチャル体験ができる</li> <li>・ シンプルな建物</li> </ul>
活かしたいところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イチョウの木や緑</li> <li>・ うさぎ小屋</li> <li>・ 池</li> <li>・ 図書館（棚の高さをそのまま）</li> <li>・ 図書館の雰囲気や空間</li> </ul>
改善してほしいところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレの洋式化</li> <li>・ LED化</li> <li>・ 児童クラブの新設（木造平屋建て、3クラブ長屋、トイレ併設）</li> <li>・ 駐車場</li> <li>・ 車の出入りルート</li> <li>・ 正門（出入口が1つ）</li> <li>・ 校舎</li> <li>・ 2階建てを3つ（学年別の棟）</li> </ul>

#### ■ ワークショップによる意見（B班）

項目	意見
末吉小学校の将来像	<p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光が良く当たる</li> <li>・ 図書室は明るく、広く</li> <li>・ 光がとれる明るい教室</li> </ul> <p>【校舎】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予備の教室</li> <li>・ ICTに特化した教室等（空調や電機なども）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い教室</li> <li>・ どの部屋からも全体が見える教室</li> <li>・ プロジェクターが自由に使える学校</li> <li>・ 校舎のどこからでもグラウンドが見えるように</li> <li>・ ミニ集会ができる場所や部屋を多く設置</li> <li>・ プール、体育館への移動がしやすい校舎</li> </ul> <b>【地域】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街づくりの一つとしての学校</li> <li>・ 地域の方々と児童の交流が日常的に行える学校</li> <li>・ 避難所としての機能</li> <li>・ 今の図書館のようなマルチ室</li> <li>・ 異年齢の交流を促進できる学校</li> <li>・ 土日や祭日も人が集まる学校(芸術やコンサート等)</li> <li>・ 交通機関とのリンク</li> </ul>
活かしたいところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い校庭</li> <li>・ 児童クラブが学校内にある</li> <li>・ 中庭</li> </ul>
改善してほしいところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外階段</li> <li>・ 高学年の教室は広く</li> <li>・ 渡り廊下の水道の数を増やす</li> <li>・ 段差がないように2階建てを3つ(学年別の棟)</li> </ul>

#### ■ ワークショップによる意見 (C班)

項目	意見
末吉小学校の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨の日にDVD等を見る部屋、リラックスできる部屋</li> <li>・ バリアフリー</li> <li>・ 芝生の庭</li> <li>・ 開放的な職員室や事務室</li> <li>・ 広い会議室</li> <li>・ 商売ができる学校</li> <li>・ 地域との交流→アニマルセラピー→学校猫</li> <li>・ どこでもネットがつながる</li> <li>・ 音楽を楽しめる音楽室</li> <li>・ 芝のある校庭</li> <li>・ ICTが何処でも使える学校</li> <li>・ 明るい場所(日当たりがよい学校)</li> <li>・ シャワールーム(子ども・大人)</li> <li>・ 地域の人が利用できる学校</li> <li>・ カウンターのある壁のない職員室</li> <li>・ 笑顔あふれる学校</li> <li>・ 明るいところ、広い空間、自由度がある学校</li> <li>・ 広い空間があり教室がつながっている学校</li> </ul>
活かしたいところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入口に図書館</li> <li>・ 収納ができる広い棚</li> <li>・ 学校の中央にある図書館</li> </ul>
改善してほしいところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EVのあるバリアフリーの学校</li> <li>・ 飼育小屋</li> <li>・ 雨漏れ</li> <li>・ 屋根の色</li> <li>・ 利用しやすいきれいなトイレ(洋室、多目的トイレ)</li> </ul>

## イ 児童アンケートによる意見

末吉小学校の児童を対象に右記の調査票によるアンケートを行ったところ、以下の結果となりました。

### ① 対象

末吉小学校の全児童（533名）

### ② 実施期間

令和5年6月27日～7月18日

### ③ 調査方法

校内に設置した記入用紙及び回収箱による配布・回収

### ④ 有効回答

186票（回収率：34.8%）

### あたらしい末吉小学校を建てる計画アンケート

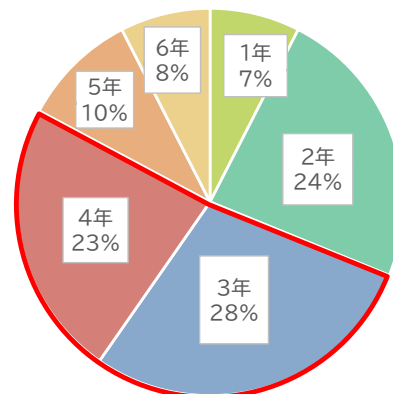
質問1	何年生ですか。数字を書いてください。 ( ) 年生
質問2	教室はより広い方がよいと思いませんか。 どちらか1つに○をつけてください。 ( ) 広くした方がよい ( ) 今と同じくらいよい
質問3	廊下はより広い方がよいと思いませんか。 どちらか1つに○をつけてください。 ( ) 広くした方がよい ( ) 今と同じくらいよい
質問4	トイレや手洗い場の数は増やした方がよいと思いませんか。 どれか1つに○をつけてください。 ( ) トイレは増やした方がよい ( ) 手洗い場は増やした方がよい ( ) トイレも手洗い場も増やした方がよい ( ) 今と同じくらいよい
質問5	あたらしい校舎につくってほしい場所や物はありますか。 意見があれば書いてください。
質問6	みんなが楽しく学べる校舎をつくるために、あなたのアイディアを教えてください。何でも書いてください。

ありがとうございました。意見箱に入れてください。

## 問1 回答者の属性

中学年（3・4年生）が過半数を占めています。

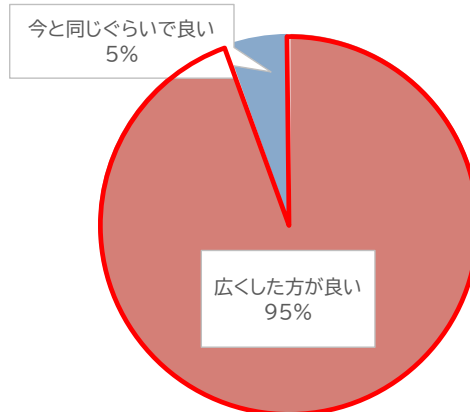
問1 回答者の属性 (n=186)



## 問2 教室の広さ

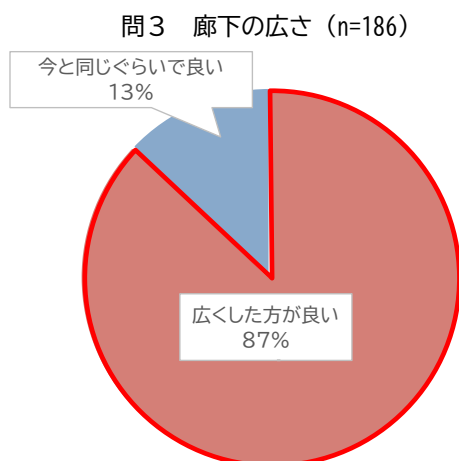
95%の児童が「広くした方が良い」と回答しています。

問2 教室の広さ (n=186)



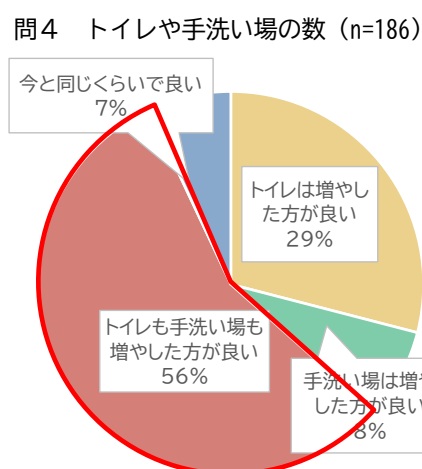
### 問3 廊下の広さ

87%の児童が「広くした方が良い」と回答しています。



### 問4 トイレや手洗い場の数

半数以上の児童が「トイレと手洗い場の数を増やした方が良い」と回答しています。



### 問5 新しい校舎に作ってほしい場所や物

項目	意見
室内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EV、エスカレーターの設置</li> <li>・ 女子更衣室を広くしてほしい</li> <li>・ トイレをきれいにしてほしい</li> <li>・ 男子部屋と女子部屋を作してほしい</li> <li>・ 寝られるところを作してほしい</li> <li>・ ロッカーを広くする</li> <li>・ 図書室の検索パソコン</li> <li>・ 校長室を広くする</li> <li>・ 自由室内遊具</li> <li>・ 机を広くしてほしい</li> <li>・ クラブの部屋を増やす</li> <li>・ 電気を明るくしてほしい</li> <li>・ 教室を広くする</li> <li>・ 玄関がきれいになってほしい</li> <li>・ フリースペースやランチルーム</li> <li>・ 階段ではなく滑り台で降りれるところ</li> </ul>
屋外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広いプール</li> <li>・ たくさんの遊具とベンチ</li> <li>・ アスレチックを作してほしい</li> <li>・ サッカーのミニコート</li> <li>・ 森</li> <li>・ ジャングルジム</li> <li>・ 池</li> <li>・ 岩川小みみたいな校庭がほしい</li> <li>・ 校庭を芝生にしてほしい</li> <li>・ みんなで楽しく遊べる遊具</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物を増やしてほしい</li> <li>・ 自然に囲まれて勉強をしたい</li> <li>・ 防犯カメラ</li> <li>・ 地下</li> <li>・ イベント広場</li> </ul>

## 問6 みんなが楽しく学べる校舎をつくるためのアイデア

項目	意見
室内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロッカーを広くしてほしい</li> <li>・ 机を広くする</li> <li>・ EV、エスカレーター</li> <li>・ 靴箱を大きくする</li> <li>・ 音楽室と理科室を広くしてほしい</li> <li>・ クラスは自分で選ぶ</li> <li>・ 雨の日に誰でも遊べる部屋</li> <li>・ 黒板を広くする</li> </ul>
屋外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校舎を広くする</li> <li>・ 教室を増やす</li> <li>・ 階段のかわりに滑り台</li> <li>・ トイレを広くする</li> <li>・ 廊下を広くする</li> <li>・ 教室を楽しく明るくしてほしい</li> <li>・ 国語の少人数教室</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスレチック</li> <li>・ 校庭を広くする</li> <li>・ 体育館を広くする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなが安全な末吉小学校にしたい</li> <li>・ 動物を増やす</li> <li>・ 地域のふれあい</li> <li>・ みんなが使いやすい学校</li> </ul>

## 2. 末吉小学校に求められる機能

ワークショップや児童アンケートによる意見等を踏まえ、末吉小学校に求められる機能を以下のように整理します。

### ア 学習・教育機能

児童の学習・生活の場である小学校は、質の高い学校教育を行う上で欠かせない要素です。今後の学習や教育の変化に対応し、個別学習や習熟度別学習などの個別的な学びとグループ学習などの協働的な学びの一体的な充実を図るため、多様な学習活動に柔軟に対応できるオープンスペースを一体的に整備します。特に、現在でも評価が高い図書館については、既存の規模・機能を維持したマルチな利用が可能な施設として充実を図ります。

さらに、学習や生活の困難を克服するための特別な支援を必要とする児童が安全かつ円滑に学習できる環境を整備するとともに、対象児童が増加傾向にあることも踏まえ、学級数の変化にも柔軟に対応できるよう配慮します。

また、教職員が働く場でもあるため、効果的かつ効率的な授業と、教職員間のコミュニケーションの充実やリフレッシュに資する執務空間の整備に配慮します。

### イ 地域コミュニティ機能

地域開放により、地域住民と連携・協働していく活動・交流の拠点とし、地域住民の生涯学習・文化活動の場や、身近なスポーツ・レクリエーション活動の場としての活用も想定します。

### ウ 防災施設機能

屋内運動場は、風水害や地震、大発生時の避難所として指定されていることから、近接して文部科学省通知に基づくバリアフリートイレを整備します。また、教育活動を早期に再開するため、避難所機能と教育機能の区画や動線を分けて計画します。



## 第4章 末吉小学校の規模

### 1. 新校舎の床面積

#### ア 新校舎の床面積の算定方法

新校舎の床面積は、以下の文部科学省の「小学校設置基準（平成14年3月29日文部科学省令第14号）」及び「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律（以下、「義務法」という。）施行令（昭和33年政令第189号）」を参考に検討します。

#### ■ 参考：小学校設置基準（単位：㎡）（別表イ）

児童数	面積
1人以上～40人以下	500
41人以上～480人以下	$500 + 5 \times (\text{児童数} - 40)$
481人以上	$2,700 + 3 \times (\text{児童数} - 480)$

#### ■ 参考：学級数に応ずる必要面積（単位：㎡）（義務法施行令第7条）

必要面積	1～2学級	$769 + 279 \times (\text{学級数} - 1)$
	3～5学級	$1,326 + 381 \times (\text{学級数} - 3)$
	6～11学級	$2,468 + 236 \times (\text{学級数} - 6)$
	12～17学級	$3,881 + 187 \times (\text{学級数} - 12)$
	18学級以上	$5,000 + 173 \times (\text{学級数} - 18)$
	特別支援学級 1学級につき168を加える	
寒冷地補正	一級積雪寒冷地：32×特別支援含む学級数を加える	
	二級積雪寒冷地：16×特別支援含む学級数を加える	
多目的スペース加算※	必要面積（寒冷地補正後）の10.8%	

※ 多目的スペース加算： 多目的スペースを設ける場合に加算する。

#### イ 新校舎の床面積の算定の前提条件

児童数は、減少傾向ですが、建設工事着手予定の令和7年度における見込みを前提とします。

また、学級数は、1・2年生の30人学級実施や令和7年度までの全学年での「35人学級」実現、特別支援学級が増加傾向であることを踏まえ、現状と同数の学級数確保を前提に算出します。

#### ■ 末吉小学校の児童数（令和7年度見込み）

児童数
516名

#### ■ 末吉小学校の学級数（令和7年度見込み）

種別	学級数
普通学級	18学級
特別支援学級	5学級

## ウ 新校舎の床面積の算定

「小学校設置基準」及び「義務法施行令」に則って新校舎の床面積を算出すると以下のとおりとなります。

### ■ 小学校設置基準による新校舎の床面積算定

面積	算定式
2,808 m <sup>2</sup>	2,700+3×(516-480)

### ■ 義務法施行令による新校舎の床面積算定

種別	面積	算定式
A. 普通学級	5,000 m <sup>2</sup>	5,000+173×(18-18)
B. 特別支援学級	840 m <sup>2</sup>	168×5
C. 寒冷地補正	0 m <sup>2</sup>	なし
D. 多目的スペース加算	630 m <sup>2</sup>	(A+B+C)×0.108
合計	6,470 m <sup>2</sup>	

## エ 新校舎の床面積

新校舎の床面積は、面積算定の根拠となる算定式において、2,808 m<sup>2</sup>～6,470 m<sup>2</sup>と幅があり、この範囲内で設定する必要があります。

ワークショップにおいて現状の床面積や新たに必要となる所要室等も勘案して検討した結果、下表の所要室の配置を念頭に、「約6,000 m<sup>2</sup>」を新校舎の床面積として想定します。

なお、屋内運動場及びプールについては、比較的築年数が浅く、教育振興基本計画（前期計画）において長寿命化改良事業による再生整備が位置づけられていることから、既存の施設を有効活用していくこととします。

また、児童クラブについては、公民館において必要な面積を検討し、国・県・市の補助金を得て整備することとします。

### ■ ワークショップにおいて検討した必要所要室等

種別	所要室等名	室数
教室等	普通教室	18室
	特別支援学級	6室
	コンピューター室	1室
	音楽室（準備室含む）	1室
	理科室（準備室含む）	1室
	図工室	1室
	家庭科室（準備室含む）	1室
	少人数教室	1室
	図書館	1室
	児童更衣室	2室
児童用トイレ・水場	4室	

種別	所要室等名	室数
教室等	児童用バリアフリートイレ（多目的トイレ）	1室
職員室等	校長室・応接室	1室
	職員室・休憩室	1室
	事務室・保管庫・印刷室	1室
	教員コーナー等	8室
	教育相談室	1室
	会議室	1室
	保健室	1室
	放送室	1室
	給湯室	1室
	教職員更衣室	2室
	教材管理室	1室
	金庫室	1室
	用務・警備室	1室
	教職員・来客用便所	2室
	バリアフリートイレ（多目的トイレ）	1室
	倉庫	5室
その他	コンテナ室	1室
	配膳室	1室
	昇降口	1室
	オープンスペース・廊下・来客用玄関・階段・E V	適宜
床面積計		約 6,000 m <sup>2</sup>

## 2. 駐車台数

直近の教職員数（40名（令和4年度））に、少人数学級の実施や特別支援学級の増加傾向、ALT（外国語指導助手）の常駐化などを考慮し、教職員用として45台程度を確保します。

また、外来・PTA（送迎含む）用として20台程度を確保するほか、将来的なスクールバス運行を考慮し、マイクロバスの待機スペース（3台分）も確保します。

なお、授業参観やPTA会議時等は、運動場を臨時の駐車場として使用することを踏まえた適切な排水計画・工法に留意します。

バリアフリー法に基づく移動等円滑化基準に対応するため、敷地内駐車台数の2%以上を身障者等用とします。

## 第5章 末吉小学校の所要室等

### 1. 所要室等の考え方

児童数の将来見込みやワークショップによる検討、現代の生活様式、国の整備目標等を勘案し、所要室等を設定します。

なお、所要室等の規模などは、今後策定する「末吉小学校改築基本計画」受けた基本設計において詳細を検討することとします。

### 2. 所要室等

建替後の末吉小学校には、部門別に次の所要室等を設定します。

#### ア 教室等（教室部門）

##### ① 普通教室

義務教育標準法第3条第2項に一学級あたり35人を標準とすることが規定されているほか、鹿児島県教育委員会の「「かごしまっ子」すくすくプラン」による1・2年生の30人学級実施が掲げられていることから、18学級とします。

また、多様な学習活動に柔軟に対応できるオープンスペースを一体的に整備します。

##### ② 特別支援学級

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律（昭和33年法律第106号）第3条第2項に一学級あたり8人までを標準とすることが規定されています。将来見込みは5学級ですが、現時点（令和5年度）で7学級あり、特別支援学級の児童数が増加傾向であることやワークショップでの検討結果も考慮し、6学級とします。

##### ③ 特別教室

コンピューター室、音楽室、理科室、図工室、家庭科室を設け、音楽室、理科室、図工室、家庭科室には準備室を併設します。

##### ④ 少人数教室

個別学習に対応するため1室を設けます。

##### ⑤ 図書館

現在と同規模のものを1室設けます。

##### ⑥ 児童更衣室

男女ごとに設けます。

##### ⑦ 児童用トイレ・水場

各階に適宜設けます。トイレは洋式便器を基本とします。

##### ⑧ 児童用バリアフリートイレ（多目的トイレ）

特別支援学級との位置関係に配慮して設けます。

## イ 職員室等（管理部門）

- ① 校長室・応接室  
職員室、事務室と近接して1室を設けます。
- ② 職員室・休憩室  
学校全体を見渡せる場所に1室を設けます。
- ③ 事務室・用務員室・警備室・保管庫・印刷室  
職員室、校長室と近接して1室を設けます。
- ④ 教員コーナー等  
教員の執務拠点として、教室との動線や児童の見守りに配慮した位置に設けます。
- ⑤ 会議室  
1室を設けます。
- ⑥ 教育相談室  
1室を設けます。
- ⑦ 保健室  
1室を設けます。
- ⑧ 放送室  
職員室と隣接して1室を設けます。
- ⑨ 給湯室  
1室を設けます。
- ⑩ 教職員更衣室  
男女各1室を設けます。
- ⑪ 教材管理室  
1室を設けます。
- ⑫ 金庫室  
事務室に隣接して1室を設けます。
- ⑬ 教職員・来客用トイレ  
男女各1室を設けます。
- ⑭ バリアフリートイレ（多目的トイレ）  
災害時の避難所機能との位置関係に配慮して設けます。
- ⑮ 電気室・機械室  
適宜設けます。
- ⑯ 倉庫  
適宜設けます。

## ウ 体育施設等

### ① 運動場（グラウンド）

200mトラック、野球用バックネット、サッカーゴール、体育倉庫、ナイター照明設備、屋外トイレ（男女別）、遊具等を設けます。

### ② 屋内運動場

既存の施設を活用します。既存施設にはトイレがないため、近接してトイレ（男女別）及びバリアフリートイレを設けます。

### ③ プール

既存の施設を活用します。

### ④ 温室

植物とふれあうため、適宜設けます。付属して農機具倉庫を設けます。

### ⑤ 飼育小屋

動物とふれあうため、適宜設けます。

## エ その他

### ① コンテナ室

給食センター方式とし、運搬車の動線を考慮して設けます。

### ② 配膳室

コンテナ室に近接して設けます。

### ③ Wi-Fi 等通信設備

校舎全体を網羅します。

### ④ エレベーター

2階以上とする場合、特別支援学級との位置関係に配慮して設けます。

### ⑤ ゴミ置き場

適宜設けます。

## 第6章 事業スケジュール

令和9年8月の新校舎の開校を目指して、基本計画策定、設計プロポーザル、基本・実施設計、建設工事等を進めていきます。

校舎の仮移転を伴わない建替方式の場合、以下のスケジュールが想定されます。

### ■ 事業スケジュール

工程	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本計画策定	12月					
設計プロポーザル	1月	7月				
基本設計		8月	12月			
実施設計		1月	6月			
建設工事			9月	3月		
備品等整備				4月	6月	
移転等					開校(8月)	
既存校舎等解体					9月	1月
外構工事						3月
						6月





# 末吉小学校改築基本構想

令和5年10月

編集・発行

曾於市 教育委員会

〒899-8692 曾於市末吉町二之方 1980 番地

TEL 0986-76-1111 FAX 0986-76-1122

URL <https://www.city.soo.kagoshima.jp/>

(作業協力)

公益財団法人鹿児島県住宅・建築総合センター